

製品名: コルディンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab08776

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用**希釈倍率** IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | CHRD UNQ217/PRO243 |
| 別名 | Chordin |
| 遺伝子 ID | 8646.0 |
| SwissProt ID | Q9H2X0 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト CHRD の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 905-954 |

背景

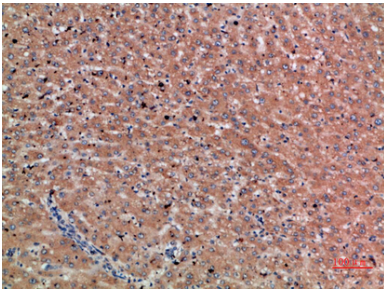
この遺伝子は、腹側化 TGF- β 様骨形成タンパク質に結合し、それらを潜在性複合体に隔離することで、脊椎動物初期胚組織を背側化

する分泌タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、器官形成や成体期にも関与している可能性があります。この遺伝子は、コルネリア・デ・ランゲ症候群の候補遺伝子である可能性が示唆されています。この遺伝子の発現が低下すると、骨再生が促進されます。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。他にも選択的スプライシングバリエーションが報告されていますが、その全長配列は未だ決定されていません。[RefSeq 提供、2015年1月]、代替製品：一部のアイソフォームは実験的確認が不十分な場合があります、機能：背側化因子。腹側化 TGF- β ファミリー骨形成タンパク質 (BMP) に結合し、それらを潜在性複合体に隔離することにより、初期の脊椎動物の胚組織を背側化する重要な発生タンパク質です。、PTM：トロイドプロテアーゼによって切断されます。切断は初期発生中の背腹パターン形成に関与します。、類似性：コーディンファミリーに属します。、類似性：4つの CHR1 ドメインを含みます。、類似性：4つの VWFC ドメインを含みます。、サブユニット：TWSG1 および/または BMP4 と相互作用します。、組織特異性：肝臓で最も高く発現します。、

研究分野

TGF-ベータ;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された。